

目標達成計画

作成日: 平成 27年 1月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	歩行が出来られないのに、ベットから降りようとされる方を就寝時ベット柵を4点拘束している。(夜勤等職員が一人の為、他の方の介助をしている時は見守りが出来ない。)歩行が出来られないのに椅子から立ち上がり歩こうとされる為、見守りが出来ない時に、椅子の両端を縛っている。	歩行訓練等を行い、下肢筋力を維持する。	3ヶ月に1回ユニット会議で検討会を開き、その結果を家族に報告し、家族の思いを受け止め、今後のケアに生かす。	6ヶ月
2	35	地域の方が参加しやすい、日程の検討や、役割分担を検討する等、地域の協力体制が更に進む事。また夜勤を行う全ての職員が、夜間想定避難訓練に参加できるよう、取り組みが望まれる。	職員全員が避難訓練をする。	夜間を想定しての訓練は、夜勤専門の方も4月の消防訓練に参加する。4月の消防訓練で職員を地域の方に見立てて、役割を決めて行う事にした。	3ヶ月
3	10	更に家族間との交流等を通して、もっと意見をもらえるよう、家族が参加しやすい行事や場を設けられる事に期待したい。	やすらぎの行事に参加してもらい、家族の素直な思いなどを、聞きケアに生かす。	H27年度から、家族参加型のイベントを開催する。運営推進会議も家族代表の方と輪番制で家族の方に参加して頂く。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。